

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時：2022年4月12日（火） 17:30-19:00
- ◆ 場所：弓倉記念ホール
- ◆ 講師：東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 咬合機能矯正学分野
小野卓史 教授
- ◆ 演題：鼻呼吸障害・睡眠呼吸障害の影響
 - 要旨：歯を顎骨内で移動することを科学する歯科矯正学という臨床専門領域の門を叩いたにも拘らず、縁あって軟組織を対象とした研究に勤しんで30年となる。大学院入学と同時に「舌の位置の中枢性制御機構」という研究テーマを頂戴した。爾来、日本、カナダ、デンマーク、再び日本と、場所を変えながらも、幸運にしてヒトおよびモデル動物を対象として様々な角度から、舌と呼吸の正常・異常の解明に携わってきた。いにしえより、「歯亡舌存」(説苑)といわれているように、舌は生涯にわたり存在する。言うまでもなく舌は消化器官であるが、演者は、これまでの研究成果から、「舌は呼吸器官である」と認識するに至った。すなわち舌は、咀嚼・嚥下・発音機能などに加えて呼吸機能に関与することで、その機能異常が顎顔面口腔領域の成長発育のみならず、高次中枢機能を含む全身の発達に影響を与える可能性をも有する重要な多機能器官といえる。本講演では、なぜ演者が、「舌は呼吸器官である」という認識に至ったかに関する研究を紹介し、さらに、軽度(鼻呼吸障害のモデルとしての片側鼻閉)から重度(睡眠時無呼吸症のモデルとしての間欠的低酸素)の呼吸機能異常がいかなる影響を生体に与えるか、モデル動物ならびにヒトから得られたこれまでの知見を紹介することで、議論を介した明日の臨床への糧としたい。

問い合わせ先：(顎顔面口腔矯正学教室 山城・黒坂 内線2958)